

標 題 : Mediterranean Diet and Health-Related Quality of Life in
Two Cohorts of Community-Dwelling Older Adults
地域在住高齢者の2コホートにおける地中海食事と健康関連の生活の質

著 者 : R. F. Pérez-Tasigchana, et al. (スペイン マドリード自治大学
予防医学・公衆衛生学部)

掲 載 誌 : PLOS ONE 2016 Mar 23;11(3):e0151596. doi: 10.1371/journal.pone.0151596

要 旨 :

はじめに : 高齢者で、地中海食事は慢性疾患の低いリスクと関連するが、健康関連の生活の質(HRQL)との関連はまだ確かでない。

この研究は、地中海食事と健康関連の生活の質との間の関連を、スペインの60歳以上の人々による2つの追跡コホートで評価した。

方 法 : UAM-コホート(n=2376)を2000/2001年に選んで2003年まで追跡した。

開始時に、食品頻度アンケートを用いて食事を収集し、それを使用して8項目の地中海食事指数(UAM-MDP)を作成した。

Seniors-ENRICA コホート(n=1911)を2008/2010年に募集して2012年まで追跡した。

開始時に、食事歴を使用して食品摂取量を入力した。

地中海食事の順守を PREDIMED スコアおよび Trichopoulou の地中海食事スコア(MSD)で測定した。

健康関連の生活の質を、開始時と追跡の終わりに、UAM-コホートは SF-36 アンケート、そして Seniors-ENRICA コホートでは SF-12v.2 アンケートでの肉体的および精神的な構成要素の要約(PCS および MCS)によって評価した。

解析を線形回帰で実施し、開始時の健康関連の生活の質を含む主な交絡因子を調整した。

結 果 : UAM-コホートで、UAM-MDP と PCS との間にも MCS との間にも有意な関連は見られなかった。

Seniors-ENRICA コホートでは、高い PREDIMED スコアは少し良い PCS (肉体的構成要素の要約) と関連した ; PREDIMED スコアの最低 (3段階) と比較して、 β 係数(95%信頼区間)は2番目が 0.55(-0.48 から 1.59)、最高は 1.34 (0.21 から 2.47)であった。

しかし、PREDIMED スコアは MCS (精神的構成要素の要約) とは有意でない関連であった。

MSD は PCS と MCS ととも関連を示さなかった。

結 論 : スペインの高齢者で地中海食事と健康関連の生活の質との間に臨床的に意義のある関連は見られなかった。
